

DEGAM 鶴岡ICTアンケート調査概要(令和5年度第1四半期)

【 令和 5 年 4 月～6 月の概況 】

- ・年代別の割合では、50 代以上が過半数を占める一方、前年同期との比較で 20 代～30 代の割合の増加が顕著となっている。
- ・居住地別の割合では、県外の割合の増加傾向が続いており、特に首都圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）の割合が大幅に増加した。
- ・一人当たりの予算（宿泊費）については、前年同期と同じく 2 万円超の割合が最も多くなった。
- ・旅行期間については、前年同期比で 1 泊 2 日の割合が減少し、日帰り及び 2 泊以上の割合が増加した。

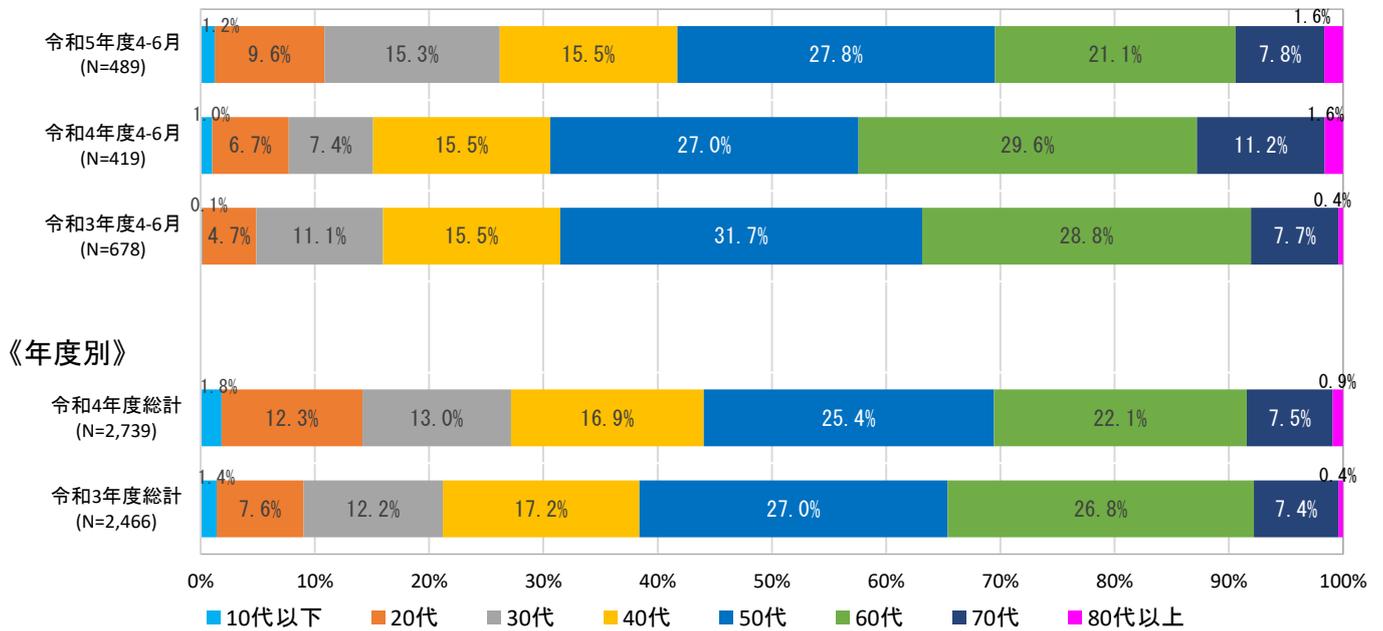
【 主な傾向など 】

- 年代別の割合では、50 代の割合が 27.8% で最多、次いで 60 代が 21.1%、40 代が 15.5% となった。50 代以上の割合が 58.3% で過半数となっている。
また、前年同期との比較では、20 代（9.6%、前年同期比+2.9 ポイント）及び 30 代（15.3%、同+7.9 ポイント）の割合が増加し、60 代（21.1%、同▲8.5 ポイント）が減少した。 [図表①]
- 居住地別（エリア別）の割合では、首都圏 3 県（埼玉県・千葉県・神奈川県）の割合が 20.0% で最多となり、次いで山形県が 16.8%、隣県 3 県（秋田県・福島県・新潟県）が 16.4% となった。
前年同期との比較では、首都圏 3 県（前年同期比+7.1 ポイント）、東京都（15.7%、同+4.7 ポイント）の割合が増加し、山形県（同▲8.5 ポイント）、隣県 3 県（同▲4.6 ポイント）、宮城県（13.1%、同▲2.7 ポイント）が減少した。 [図表②]
- 一人当たりの予算については、2 万円超の割合が 38.7%（前年同期比+0.5 ポイント）で最多となった。 [図表③]
- 旅行日数では、1 泊 2 日の割合が 45.3% で最多、次いで 2 泊 3 日が 24.6%、日帰り 14.4% となった。
前年同期との比較では、1 泊 2 日が 15.1 ポイント減となった一方、日帰り（前年同期比+6.9 ポイント）及び 2 泊以上（計 40.3%、同+13.2 ポイント）の割合が増加した。 [図表④]

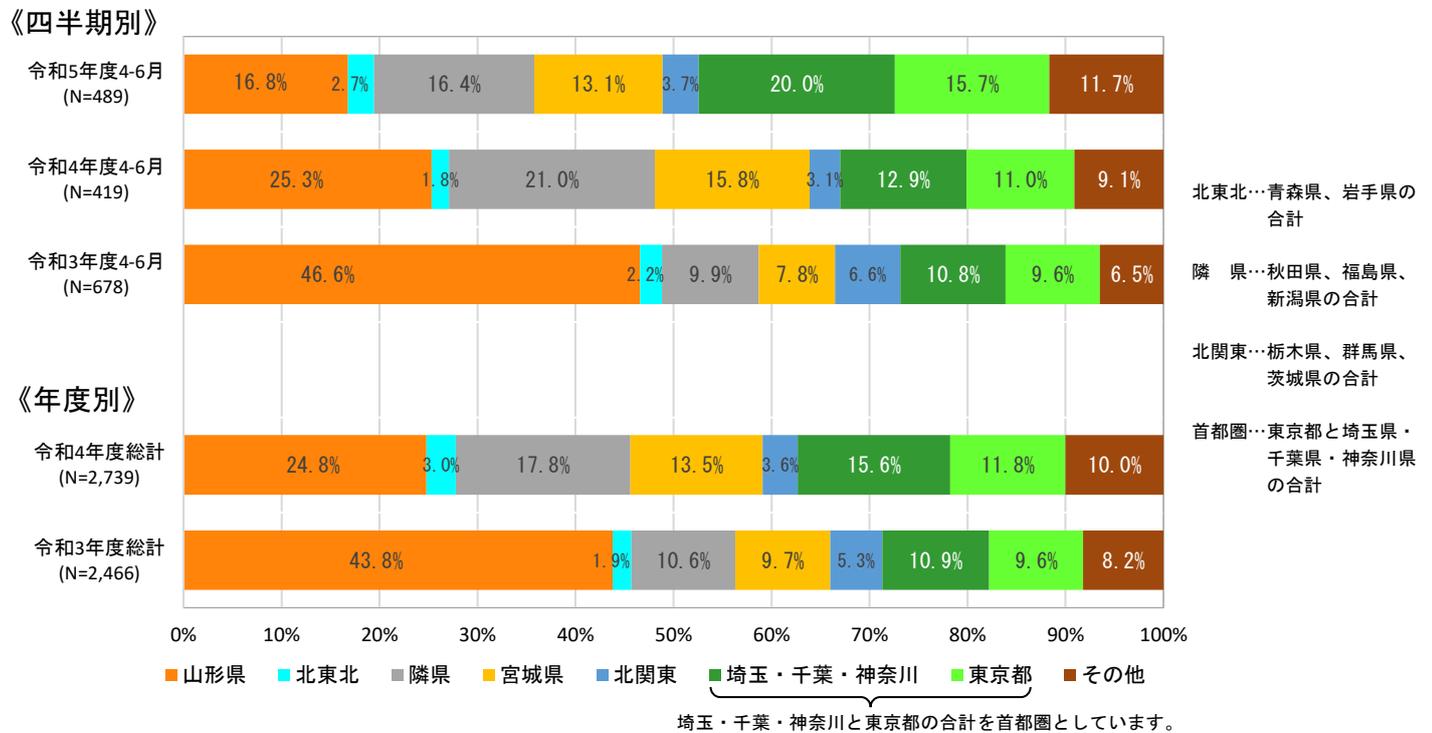
【 調査方法 】（協力：静岡県立大学渡邊研究室）

- ・宿泊・観光施設等で QR 付きカードを送付し、観光客がネット上で回答。

《四半期別》 **[図表①] 年齢（割合ベース）**

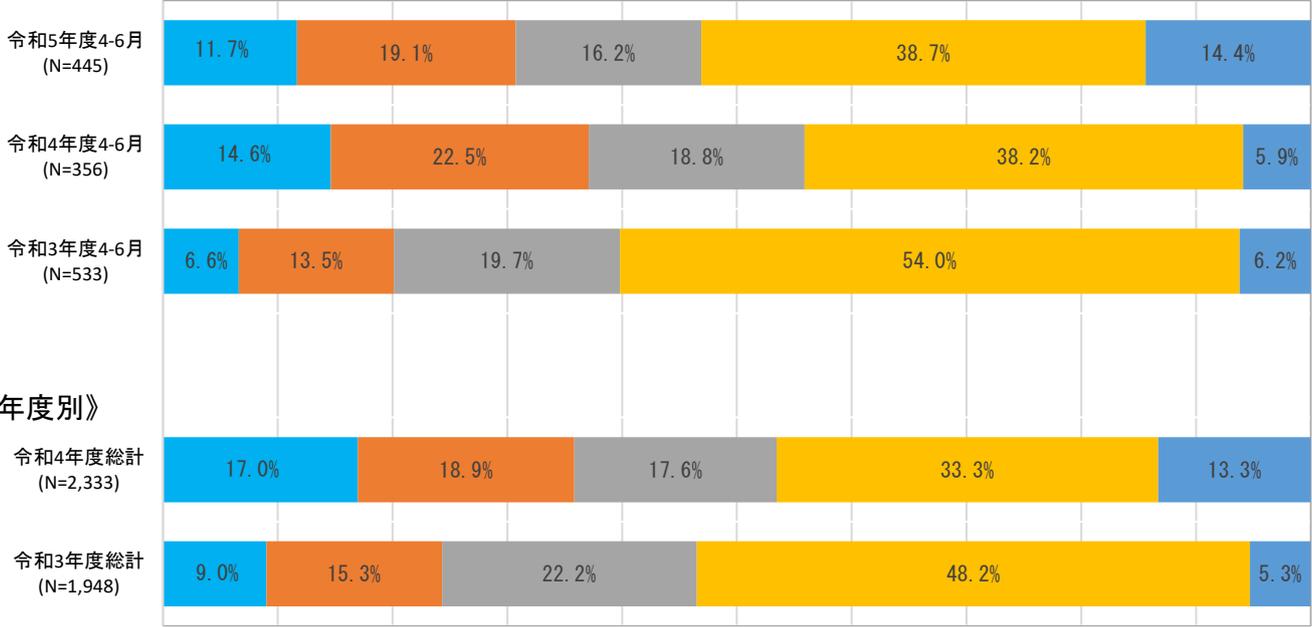


[図表②] 居住地〔エリア別〕（割合ベース）

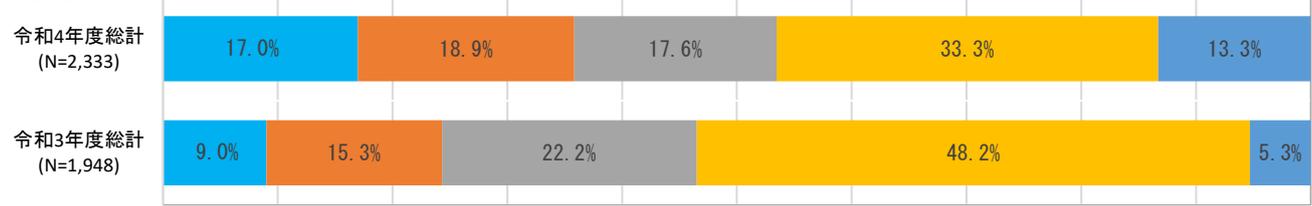


【図表③】 一人当たりの予算額〔宿泊費〕（割合ベース）

《四半期別》



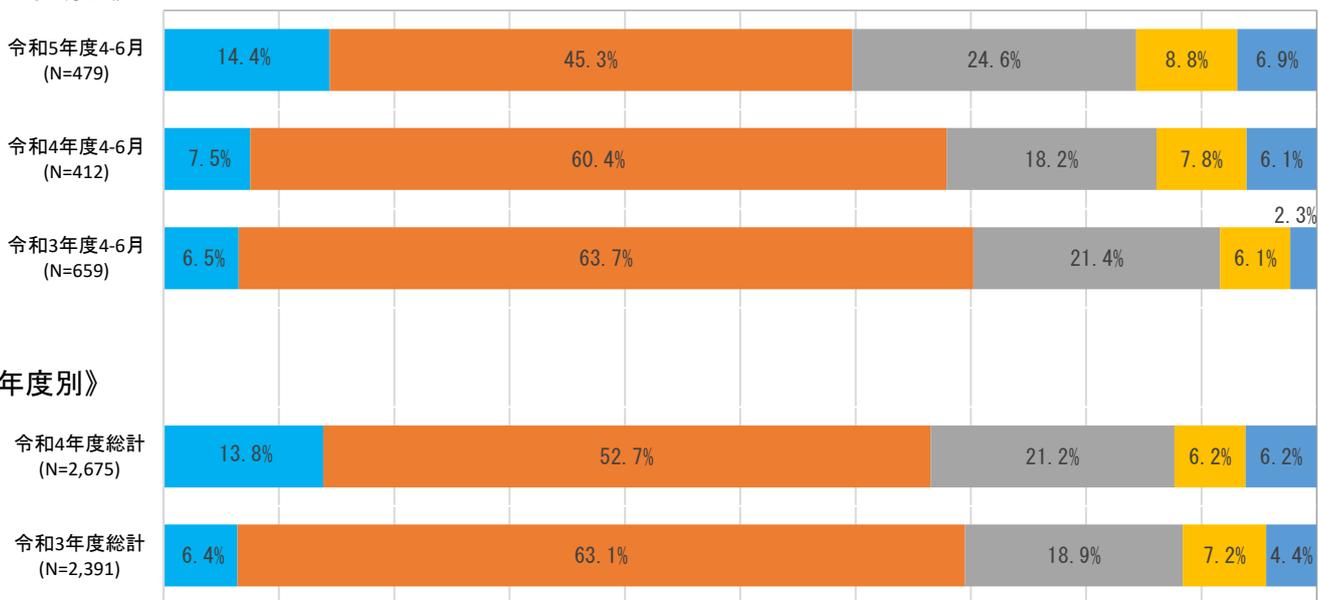
《年度別》



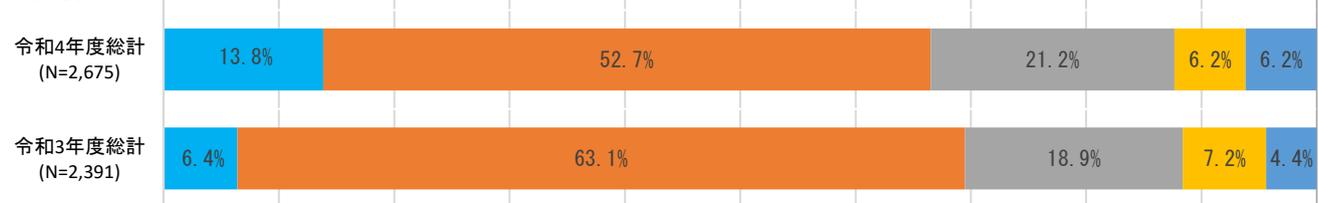
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
 ■ 10,000円以下 ■ 10,001～15,000円 ■ 15,001～20,000円 ■ 20,001円以上 ■ 該当なし

【図表④】 旅行日数（割合ベース）

《四半期別》



《年度別》



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
 ■ 日帰り ■ 1泊2日 ■ 2泊3日 ■ 3泊4日 ■ 4泊以上